

Mark Audio OM-MF5 のマルチ(3 本)使い (バーチカルツイン仕様)

1.はじめに

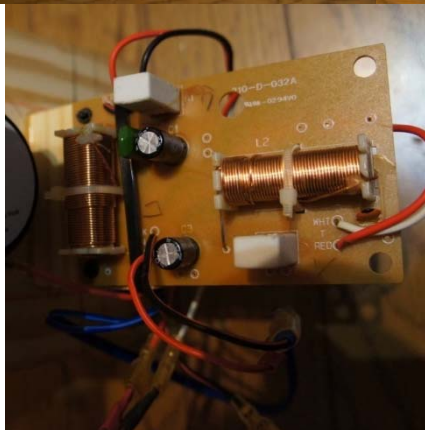
2018 年度の Stereo 誌の自作コンテストの課題ユニットは Mark Audio “OM-MF5”であった。私もコンテストに出品したが入賞できずにユニットが余っていた。昨年のオフ会の際に井形さん、鈴木さんから使用しなくなったユニットを頂いた。

手元に 3 セットの OM-MF5 が揃ったので、同一ユニットでバーチカルツインのシステムを作成し、どのような仕上がりになるかを試みた。

2. 外観

今回は、設計図を引かずに作成した。

エンクロージャーは 2012 年に当会のオフ会で発表した([Gamatama](#))の第 2 空気室を使用した。円筒の一部を切り出して長方形の穴を開けてバッフル板を仕込む方法をとった。



ネットワーク;クロスオーバー周波数は 3kHz で設計された市販品を使用した。

配置は、中央にツイーター、上下のウーハーのバーチカルツインの配置としている。

仕様

空気室容量;14.4L

ダクト:内径 5cm, 長さ 10cm

共振周波数:44Hz

最後におまけの空気室を取り付けて音の変化を確認する。